

広報誌で紹介した写真または
データを提供者に提供します。

●お申し込み●

秘書課広報広聴係 ☎ 23-3069 へ

森づくりの苗木を植樹

(5月12・14日)

5月12日に「森林・林業活性化推進議員連盟」＝（林活議連）を構成する北海道議会議員33人が道民の森青山中央地区にアカエゾマツ・ミズナラ・ナナカマドを植樹。

平成19年度に北海道で全国植樹祭が開催予定で、「北海道森林づくり条例」に基づく、100年先を見据えた森林づくりの取り組みとして行われ、当別町議会議員も参加し約200本の苗木を植えました。

また14日には、同地区にある「北海道医療大学の森」にも、新入学生約600人が3m程のエゾヤマザクラ200本を植樹しました。

植樹の前に広重力学長は「本校は創立30年を迎え、道民の森で植樹するのは3回目。木を植えることは命を植えること。豊かな大地と太陽の恵み、水と愛情が必要。暖かな気持ちで植樹してほしい」と挨拶。

雨上がりの青空の下、学生らは、石狩森づくりセンター職員の指導を受けながら、用意された苗木を4・5人のグループで丁寧に植え付けました。初めて植樹を行った学生らは「花が咲くのが楽しみ」と植えた木々を見つめていました。



医療大学の森の植樹



林活議連の植樹

アースデイを発信

(4月25日)



4月22日を「アースデイ＝地球の日」とし、地球のために行動しようと、世界的に様々な催し物が行われ、町内ではNPO法人当別エコロジカルコミュニティが植樹や映画上映、各種催しなどを開催。

「あえ～る」入り口前では、食べた分だけアースデイを知人に広めてもらおうと300個のたこ焼きが焼かれ、訪れた子供たちが順番待ちをして焼きあがるのを待っていました。

火災に気をつけて！とうべつ消防まつり

(4月25日)



4月20日からの春の火災予防運動にちなみ、当別消防署が開催した「とうべつ消防まつり」に親子など500人が集まり賑わいました。

今年は、時折雪交じりの冷たい雨が降り、同署車庫内が会場となりましたが、所せましと並べられた防火グッズや綿あめ、ヨーヨーの縁日コーナー、ボランティアグループが作る豚汁の「炊き出しコーナー」に子供たちの長い列ができました。

晴れ間には、はしご車搭乗なども行われ、子供たちは地上10メートルの高さを肌で体験しました。

優良母子家庭表彰善行賞を受賞

(5月6日)

母子家庭の母を対象に北海道が表彰する「北海道優良母子家庭表彰善行賞」を牧野志保子さ



ん(春日町)が受賞し、授賞式で高橋北海道知事から賞状を渡されました。

牧野さんは、平成5年から当別町母子寡婦会に入会し、平成9年からは、幹事として会行事・事業に積極的に企画・参加し、母子福祉の向上に意欲的であり、他の母子家庭の模範とされたものです。



当別高校が国際貢献表彰を受賞

(5月22日)

当別高校の国際協力クラブが、(社)日本善行会の『春季善行表彰』の国際貢献表彰を受賞し、顧問の田辺孝規教諭と部長の湯浅友美さんが明治神宮での授賞式に参加しました。同クラブは、平成9年から国際交流と国際ボランティア活動として、校内外で集めた物資や事業益金を世界の難民へ送るなどの支援活動が認められました。

また、5月9日には「ゆとろ」を会場に、パレスチナガサ地区でボランティア活動をしている寺畑由美さんを招いて「パレスチナ報告会」を開くなど、精力的な活動も続けています。



ファイターズOB選手を迎え野球教室

(5月8日)

若葉球場を会場に北海道新聞社の主催などで開催された少年野球教室に、町内から『当別ウイングス』『当別太美ウォーリーズ』、新篠津村から『新篠津ファイターズ』の3チーム約80人の野球少年が参加しました。

元日本ハムファイターズの白井康勝さん、荒井昭吾さんをコーチに迎えてキャッチボールやトスバッティングなど、一人ひとりに声をかけ丁寧にアドバイスしていました。

また、荒井コーチが披露したフリーバッティングで



は柵越えを連発し「すごい飛距離!もっと飛ばして!」など子供たちはプロ選手のパワーに驚いていました。

全道の中学生剣士が集結

(5月2・3日)

16回を数える全道中学校剣道錬成会が、全道56団体男女110チームが参加し、総合体育館で行われました。

この大会は、総合体育館ができた平成元年から続けられ、中学生剣士の心と技を鍛える場として全道から応援団も含め1,000人を超える人が集まりました。



当別中学校剣道部も参加する中、男女別に団体戦が繰り広げられ、アリーナには威勢の良い掛け声が響き渡り2日間で約670試合が行われました。

農業体験 秋の収穫楽しみ



北海道新聞社が主催する「つくる・たべる倶楽部」の農業体験イベントが、西当別地区の農家11戸で創る「ふとみ湯田里ファーム」で行われました。札幌などから参加した30家族が、50㎡に区画された土地に、ジャガイモ・にんじんなどを植えて、手入れをしながら秋の収穫までを楽しむ。

この日は、雨の影響で畑の状態が悪くスタッフから植え付けの説明のみでしたが、用意された豚汁などの昼食で体を温めていました。(5月22日)

NOP法人当別エコロジカルコミュニティが親子を対象に8回シリーズで行う「あぜみち教室」を川下地区で開きました。元川下小学校近くの水田に参加した6家族がはだしで入り、苗を丁寧に植えました。

(5月23日)

